



# 中学生が 働く大切さ学ば

消防署の訓練を体験する中学生（岩村消防署）

カップ酒の中のごみを確認する時、腰や腕がすごく痛くなり、ため息が出ました。一日に千本以上を箱に詰めました。千本詰めたときは、達成感がありました。自分がした仕事の商品となっていくのは、とてもうれしいことでした。

（岩田中学校 宮下真里奈さん）

一週間、学校とは違う職場で働いて、自分から動くことや仕事の厳しさや楽しさなどを学ぶことができました。また働くことは、大切に難しいことが分かりました。

（恵那北中学校 鷲見俊貴さん）

仕事の喜び、厳しさなどを学ぶことができました。喜びは、自分が作った商品をお客さんが買ってくれたさう、あいさつをしたら笑顔で返してくださったことです。しかし、厳しかったこともありましたが、この体験で、うれしいことや喜びなどがあるということを学びました。

（恵那西中学校 今井貴之さん）

私はこの職場体験を通して、働くことの大変さを改めて感じました。二日くらいたつと足や腰が痛くなり、予想していたことと大きく違ってきました。そして作業では、スピードと品質が求められる従業員の動きに驚きました。この期間で学んだ多くのことを今後に生かしていきたいと思っています。

（恵那東中学校 遠藤真子さん）

## 職場体験学習をした中学生の声



10月2日から6日までの5日間、市内中学校の2年生約570人全員が、市内の200余の事業所などで職場体験を行いました。中学生は、職場体験から普段何気なく食べたり、買ったりする商品が、いろいろな人の手によって作られていることや、社会生活を働く側から見ることなど新しい発見をしました。

■問い合わせ 教育研究所 43-2112

病院といったら医師や看護師が思い浮かぶでしょう。しかし、病院のいろいろな仕事場に行ってみると、病院には欠かせない大事な仕事ばかりでした。学校も同じで、いろいろな係あつての学級や全校です。だから私も誇りをもって自分の責任を果たしていきたいです。

（上矢作中学校 安藤枝里佳さん）

保育園でお世話になって、みんなが声を掛けてくれて、一緒に遊んで楽しかったです。職場の方たちを見ていて、優しいだけではいけないことを知りました。悪いことをしたらしかる。良いことをしたら褒める。それがやさしさだということを学びました。

（串原中学校 三宅星来さん）

職場の人は自分の仕事をするのに精一杯のはずなのに、私にとっても親切に教えてくださって本当にうれしかったです。仕事をするとは、つらいことや厳しさもたくさんあるけど、それ以上にやりがいや達成感があることを少しかもしれないけど学ぶことができました。

（明智中学校 塩田恵理奈さん）

働くということはうれしいことがいっぱいあるんだなあと思いました。たくさんの人に助けられ支えられていることが分かりました。毎日教えてくださった道の駅の駅長さんや差し入れをくださった生産者の方、そして一番支えてくれたのは父と母です。感謝しています。

（山岡中学校 伊藤友美さん）